



11月  
図書館カレンダー

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12



12月  
図書館カレンダー

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

※■は休館日です。日曜・祝日は午前9時30分から午後5時まで開館いたします。  
行事・イベントの詳細はチラシまたは館内掲示をご覧ください。

## 月間テーマ展示 (10/17~11/19)



本の展示



◇秋を愛する人は～♪「詩」で心を深めよう◇  
秋といえば、芸術の秋！  
詩を通して秋を感じてみませんか？より一層秋が好きになること間違いなしの展示です。



## ミニ展示 (10/17~11/19)

◇あたらしい秋◇  
～お家でできること考えませんか～



今までとは、少し違う今年の秋。家の中でもきっと、秋を感じることができるはず  
です。あたらしい秋と一緒に探しましょう！

Twitter フォロワー募集中！

当館に住むクマ「くまきち」が  
ホットな話題をお届けします！  
@shidamilibrary または、  
QRコードからチェック！！⇒



図書館NEWS

志段味図書館では、今月も寒さを忘れるくらいの楽しいイベントをご用意しました。一緒に寒さを吹き飛ばしてしましましょう！

今月23日(月・祝)は、年に一度の志段味図書館まつりを開催いたします。図書館まつり当日は、イベントが盛りだくさん！「赤ちゃんからのおはなし会」や「英語でおはなし会」、「ストーリーテリングのおはなし会」など、さまざまなおはなし会をはじめ、謎解きゲームやハッピーバッグ(本の福袋)の貸出、出店も予定しております。また、10月に募集していました、「POP コンテスト」の結果も発表されます。ぜひ、今月も志段味図書館へ遊びに来てくださいね。





新着図書 PICKUP!



『SNS暴力』

毎日新聞取材班 著(毎日新聞出版)

『「考える技術」と「地頭力」がいきなり身につく東大思考』  
西岡忠誠 著(東洋経済新報社)



『おいしい昆虫記』

佐伯真二郎 著(ナツメ社)

『全国認知症カフェガイドブック』

コスガ聡一 著(クリエイツかもがわ)



『ちょっとの丸暗記で外食レベルのごはんになる』

小竹貴子 著(日経BP)

『我々は、みな孤独である』

貴志祐介 著(角川春樹事務所)



今月の新着図書 注目の1冊!

『AI とカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争』  
庭田杏珠・渡邊英徳 著(光文社)

皆さんは「記憶の解凍プロジェクト」をご存知でしょうか。第2次世界大戦の前後に撮影された白黒写真を、当事者の証言や資料をもとに人工知能(=AI)を用いてカラー化させる、という試みです。

白黒写真をカラー化させることで、あたかも最近撮られた写真のように見えるのは不思議です。戦争を身近に感じられる一冊。



STAFFのオススメ

『Mattyのまいにち解毒生活』

Matty 著(講談社)

なんだかいつも疲れている…。ちょっとした不調を「解毒生活」でやっつけましょう!

特別な道具は必要ありません。思い立ったらすぐに始めることができる解毒方法がたくさん紹介されています。ご自身の不調に合った解毒生活で、毎日元気に過ごしましょう!



ファン待望! 『涼宮ハルヒ』シリーズ最新刊

今月25日、『涼宮ハルヒ』シリーズの最新刊『涼宮ハルヒの直観』が発売されます。新刊発売は、前作の『涼宮ハルヒの驚愕』以来、実に9年ぶりで、ファンにとっては待ちに待った新刊発売です。

『涼宮ハルヒ』シリーズとは、シリーズ累計2000万部を誇る人気ライトノベル作品で、ジャンルは非日常学園系と位置付けられています。また、シリーズ第1巻である『涼宮ハルヒの憂鬱』は、角川書店が主催する文学賞、スニーカー大賞で大賞を受賞しました。

人気は小説のみに留まらず、漫画化やアニメ化、劇場版化へと展開されました。気になる最新刊の収録内容ですが、「あてずっぽナンバーズ」や「七不思議オーバータイム」など、既出作品の再録もありますが、書き下ろし作品である「鶴屋さんの挑戦」も収録される予定です。



ちよこつとコラム

秋の味覚の王様 松茸

一般的に、松茸の旬は、9月~10月頃です。寒い地方では、8月末頃から始まり、温暖な地方では、11月半ば頃まで獲れるところもあります。

時期は前後するものの、幅広い地域で収穫できる松茸ですが、なぜ、松茸は高価なのでしょう。それは松茸の生育条件が厳しいためです。松茸の生える赤松や松茸の胞子は、栄養分の少ない山を好みます。また、人が山に入り、薪や落ち葉を取らなくなったことで生育環境が乱れたことが要因だともいわれています。人々の生活様式の変化が松茸の収穫に影響を与えていたとは驚きです。加えて、人工栽培が難しいことも、高価である所以です。



お問い合わせ

志段味図書館

指定管理者：名古屋TRCグループ

〒463-0811

名古屋市守山区深沢1丁目101番地

☎：052-736-6907

Fax：052-736-6908

【交通アクセス】

ゆとりーとライン 上島東下車すぐ/上島西下車2分